

広徳校区の元気プラン



住民発！

広徳校区 小地域福祉活動第一次計画



ふれあいネットワーク

広徳校区社会福祉協議会

ごあいさつ

広徳校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成16年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢化時代となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても少子高齢化や、障害を持つ人の増加、孤立死やホームレスの問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011－2020」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「地域共生！きたきゅうプラン2021～2025」（北九州市地域福祉活動第六次計画）が策定されています。

広徳校区においても新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げます、ご挨拶といたします。

広徳校区社会福祉協議会
会長 安東 吉松

もくじ

ごあいさつ	…… 1 p
第1章 計画策定にあたって	…… 2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 広徳校区の現状と課題	… 3 p
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	…… 4 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
広徳校区小サロン活動一覧	
第4章 計画の推進	…… 9 p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2期計画の策定	
参考資料	……10 p
1 広徳校区社会福祉協議会役員 兼 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、広徳校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、広徳校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 広徳校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和5年度～令和9年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

広徳校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、広徳校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和4年9月29日に立ち上げた同委員会において、9名の委員により4回に及ぶ協議の上、広徳校区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)



第2章 広徳校区の現状と課題

1 地域社会の動向

広徳校区データ

令和4年3月現在

人 口	8,150 人	小 学 校	広徳小学校
世 帯 数	4180 世帯	中 学 校	広徳中学校
高 齢 化 率	28.8%	公 民 館 ・ 市 民 セ ン タ ー	広徳市民センター
一人暮らし高齢者数	1068 人	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	小倉南4
その他社会資源等	特養、グループホーム、デイサービス、病院、公園等		

広徳校区は、小倉南区の中央に位置し、区域の多くを住宅地が占めています。小嵐山、紫川と豊かな自然に恵まれる地域です。校区内には学校や市民センター、医療機関等の社会資源は充実しています。校区の中心に位置する UR 都市開発機構の大型団地「徳力団地」高齢化が深刻になってきており、その他の区域でも世帯構成で高齢者の単身世帯が占める割合が高い地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

広徳校区では平成 16 年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の影響もあり、また広徳校区内の高齢化率も高いため、福祉協力員等福祉活動者の平均年齢も 68.8 歳と高く、福祉協力員 1 人当たりの見守り世帯も 20 世帯と、負担が大きくなってきています。そのために校区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。

福祉活動を進めていく上での課題としては、見守りが必要な方の情報が十分に得られていないという現状があります。特に新築や流入の住民について、情報を集める必要があります。

また、近年では高齢者を対象とした消費者被害や、虐待問題も数件発生しており、日頃からの見守り活動に加えて、地域行事を利用した住民への啓発活動の重要性も高まってきています。



第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

広徳校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉を学び合い、助け合いの意識を高めよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへの福祉教育を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 住民同士のふれあい・交流を深めよう

地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めてきます。

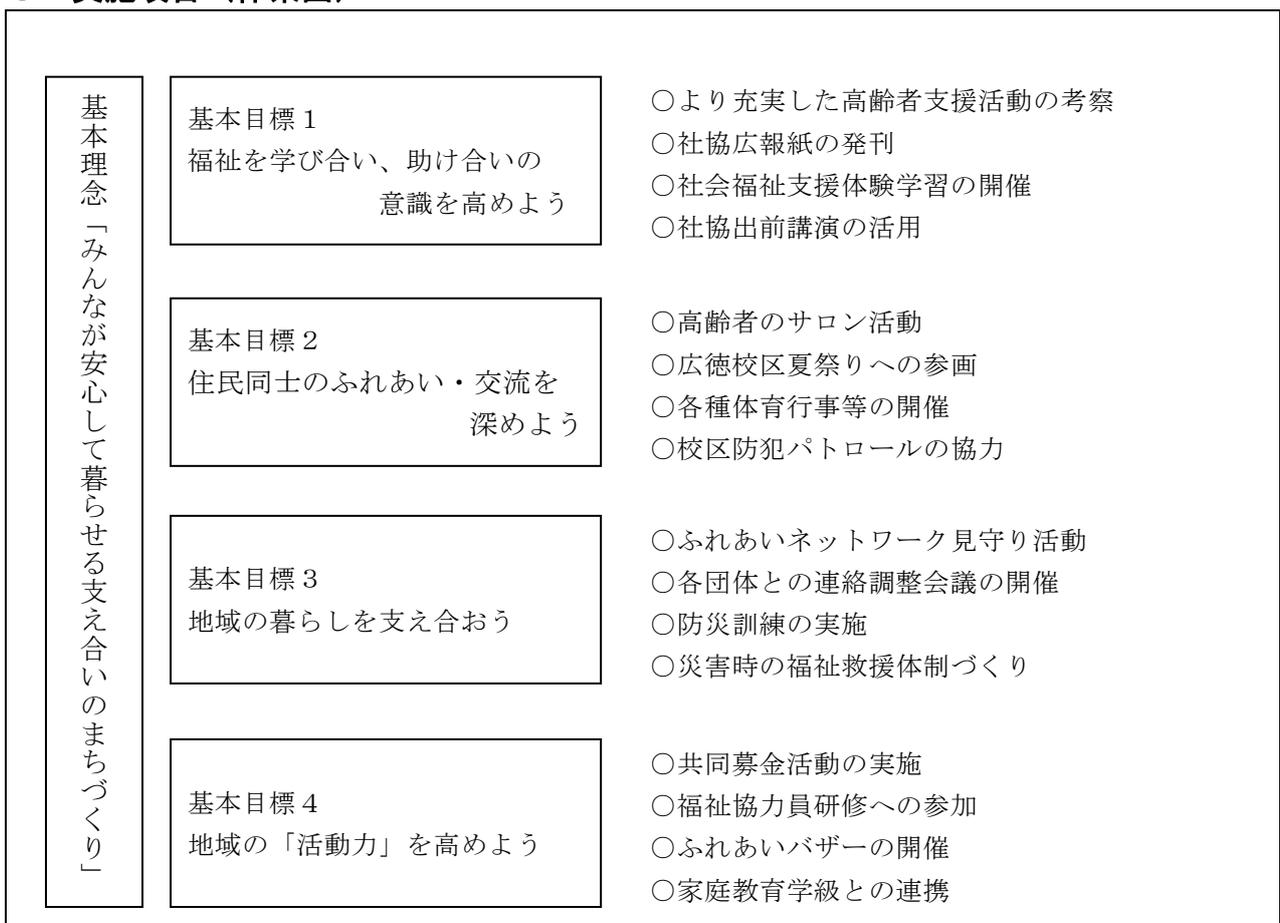
(3) 地域の暮らしを支え合おう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう公私の社会福祉関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動をすすめます。

(4) 地域の「活動力」を高めよう

活動者の募集や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を通じ、地域の活動力を強化します。

3 実施項目（体系図）



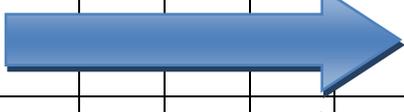
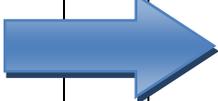
4 重点実施項目

重点実施項目		高齢者のサロン活動					
1 課題背景及び現状							
<p>広徳校区では高齢化率が 28.8%と高く、また全 4,180 世帯中 1,068 世帯が高齢者の単身世帯である。ひきこもりや閉じこもりの生活をしている方も少なくない。福祉協力員による見守り対象の高齢者の間でも「話相手が欲しい」との要望が多く聞かれるようになってきた。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>高齢者の生きがいづくりを支援できるようなサロンを校区内に設置する。サロンにおける活動内容はそれぞれ地域の実情に合わせたものとする。5年前から徳力団地集会所を中心に地域のニーズに応じた小サロン設置し、その3年後に役所に登録を済ませた。各サロンは定期開催を続け、今後もメンバーの拡充を図りながら活動継続していく。また新サロンの設置も行っていく。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
校区各団体と連携したサロンの設置・運営 (担い手の養成、サロンメンバーの募集、場所の確保、活動内容の検討)	市民センター 自治連合会 校区まち協 区社協 市社協 民児協 老人クラブ 行政						各サロン毎開催参加者 10 名～
校区各団体と連携したサロンの新設置に向けた取り組み	市民センター 自治連合会 校区まち協						各サロン目標募集参加者 5 名～
校区各団体と連携したサロンの点検・評価	区社協 市社協 民児協 老人クラブ 行政						各サロン 3 年に 1 度の点検と評価を目標とする



重点実施項目		地域住民との交流イベントの拡充					
1 課題背景及び現状							
<p>広徳校区では H18 年の「まちづくり協議会」の正式発足に伴い、今まで広徳校区自治連合会が主催してきた地域の様々なイベントを多方面の団体の協力のもと開催してきた。高齢化が進んできた状況から一層他世代との協力や認知の必要がある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>小学校、中学校の PTA や「おやじの会」といった若年世代の他、地域の防災見回り活動の積極参加者といった世代にも参加協力を呼びかけ、幅広い世代の交流イベントの実施を目指す。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
紫川河川清掃（6月/10月）	まち協 社協 自治連合会 衛生協会 河川愛護会						年間参加者 150 名 (R4 年度 100 名)
広徳盆踊り夏祭り	まち協 社協 自治連合会 希望参加者						校区外に向けた地域 活性化の PR 活動
大運動会	まち協 社協 自治連合会						健康づくりと世代間 交流の促進
各種スポーツ大会							
ふれあい昼食会、その他							



重点実施項目		地域とつながる場所づくり						
1 課題背景及び現状								
<p>町内会加入世帯の減少と高齢化により、近隣の付き合いがなく孤立化の進む単身世帯や、コロナ禍で引きこもりがちになった高齢者世帯、地域に関心の薄い層の増加で、地域の目が届きにくくなっている。</p> <p>地域活動の大切な資金源となる古紙回収量は、年々減少傾向にあり、先々の活動に不安を感じる。</p>								
2 活動の方針・目標								
<p>家庭ごみとして捨てられることの多い雑がみを分別回収して、環境活動への関心を高めるとともに、家庭ごみを減らすことで、家計にも優しいまちづくりをテーマとする。</p> <p>市民センターに持ち込まれた雑がみを計量し、コンテスト形式で景品を用意することで、事業にイベント性を持たせ、楽しみにする気持ち、回収代行時や市民センター来館時に人と人の交流があることで、地域住民のニーズの発掘につなげる。また、高齢者には、「ふれあい新聞」「センターだより」等で広報し、来館困難者には福祉協力員の訪問回収を実施する。</p> <p>地域や市民センターにより一層の関心を持ってもらうとともに、町内会未加入者を含む人と人がつながり、地域全体で顔が見える関係が構築される支えあいのまちづくりを目指す。</p>								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容	連携する機関	R4	R5	R6	R7	R8	5年後の達成目標	
環境活動に関心を持ってもらうため、ごみ分別の周知と資源回収ごみ袋の配布	町内会 校区社協 市民センター							
環境意識の向上と地域づくりに関心を持ち、雑がみの回収に取り組む	町内会 校区社協 デイサービス 市民センター							
町内会加入者の雑がみ回収量を町内に還元する	町内会 校区社協 市民センター							
市民センターに足が運べない世帯への訪問古紙回収	町内会 校区社協 市民センター							



広徳校区小サロン活動一覧

	サロン名	実施日	場所	参加人員	代表者（年齢）	備考
1	きたきゆう体操	毎週月曜午後	団地集会所	35人	橋本光江（83）	
2	健康マーじゃん	毎週水曜午後	団地 E ラウンジ	10人	竹内紘一（71）	
3	初心者マーじゃん	毎週月曜午後	〃	5人	古賀和子（87）	
4	カラオケを楽しむ会	毎週木曜午後	〃	7人	所 八代子（75）	
5	カラオケ B	毎週火曜午後	〃	6人	古川千晶（78）	
6	将棋を楽しむ会	毎週土曜午前	〃	6人	江口和彦（83）	
7	囲碁を楽しむ会	毎週土曜午後	〃	8人	高野 章（87）	
8	おしゃべりカフェ	毎週金曜午後	E ラウンジ 集会所	スタッフ7人 客15人	宮崎幸子（76）	
9	園芸を楽しむ会	毎週月曜と 水曜	団地内共同 花壇	会員11人 協力者10人	古賀和子（87）	
10	映写会	毎月2回午後	団地集会所	スタッフ5人 客20人	養父和雄（72）	
11	銭太鼓の会	毎月2回午後	〃	8人	安藤弓子（73）	
12	折り紙を楽しむ会	毎月第2火曜 午前	〃	8人	橋本光江（83）	
13	ふれあいバザー	毎月第1火曜 午前	集会所玄関	スタッフ20人 客50人	仲野直美（66）	
14	ふれあい昼食会	毎月第4火曜	団地集会所	スタッフ8人 参加者13人	高柳睦子（71）	
15	ディスコンの会	毎週土曜午後	市民センター	11人	橋本光江（83）	
16	24日会	毎月24日	個人宅	10人	岡田眞壽美（80）	
17	元気体操	毎週水曜午前	市民センター	15人	田上智恵（59）	
18	健康道具を使って 健康づくりの会	毎月第1月曜 午前	団地内公園	10人	千々和一美（71）	

※新設置予定サロン…卓球を楽しむ会（毎週金曜・E ラウンド）8人



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
 - ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
 - ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知
- 等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、広徳校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

等について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

広徳校区小地域福祉活動計画推進委員会を年 1 回程度開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）という PDCA のサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2期計画の策定

第1期計画の推進状況を踏まえて、第2期計画の策定期（計画第4～5カ年度）には新しく第2期計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料【広徳校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 広徳校区社会福祉協議会役員 兼 福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	安東吉松	広徳校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	八田文雄	広徳校区社会福祉協議会	副会長	委員
3	井手尾定男	広徳校区社会福祉協議会	副会長	〃
4	竹内紘一	広徳校区社会福祉協議会	役員	〃
5	植山不破	広徳校区社会福祉協議会	役員	〃
6	山下友香	広徳校区社会福祉協議会	会計書記	〃
7	北隅明子	広徳校区社会福祉協議会	会計書記	〃
8	岡田眞壽美	広徳校区民生委員		〃
9	高柳睦子	広徳校区福祉協力員	代表	〃
10	植山光朗	監事	会計監査	

2 広徳校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	令和4年 7月 25日	1 地域の現状について 2 地域の活動状況について 3 地域の福祉課題について 4 計画の基本理念について 5 計画体系（基本目標・実施項目）について
2	令和4年 9月 29日	1 計画の重点実施項目について 2 計画体系について（見直し） 3 計画の推進について 4 計画書の編集について
3	令和4年 12月 7日	1 計画書（案）の確認 2 計画書の訂正と変更について
4	令和4年 12月 13日	1 計画書の周知（校区まち協構成団体代表）



広徳校区社会福祉協議会

〒802-0974 北九州市小倉南区徳力 6-3-2 市民センター内
TEL 093-964-0031 FAX 093-964-0032

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園 5 丁目 1 番 2 号
TEL 093-331-3688 FAX 093-331-5994

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号広徳とばた内
(代表) TEL 093-871-4401 FAX 093-882-3579
(福祉部) TEL 093-873-1296 FAX 093-873-1351

